

親しみを込めて語る
日高学長・理事長



学生時代になすべきことを説いた嶋根学生部長

「社会人基礎力」UP!

キャリアデザインセンター(池本正純センター長)では、実践的な視点で、課題発見能力・解決能力を身につけ、社会が最も求める「創造力」を磨くさまざまなプログラムを展開している。

ワーキングライフを考える

全学公開科目の特殊講義「ワーキングライフ」では、パナグループの須東朋広氏(写真)をコーディネーターに、起業家や社会貢献に取り組む社会人など、さまざまなゲストスピーカーの体験談から、将来の仕事や生き方、自分が磨くべき能力を考えるヒントを提供する。

現代ビジネス事情

社会人として知っておきたい事項を新日本監査法人の公認会計士が、5月8日から7月10日まで全10回で、わかりやすく解説。テーマは、内閣府とコーポレートガバナンス、「リスクマネジメント」など。校友、育友、一般の方も聴講可能。詳細は、同センターホームページで。

実践型ワークショップ

取締役経験者による社会人基礎力トレーニング

初の取り組みとして、アサヒビールや花王などの元取締役の方を講師に迎え、会社の仕組み、マーケティング(ものづくり・モノを売る)、利益を出すといったテーマについて全12回のワークショップ形式で学んでいる。

課題解決型インターンシップ

川崎市やその周辺の中小企業、NPO法

新入生歓迎セミナー

日高学長がエール

新入生の学生生活をより豊かにするために、初日の開会式で嶋根学長が「自分の可」と4月30日、5月1日「己」学生部長が「自分の可」の2日間、伊勢原セミナ性を試してアイデンティティを確立してほしい」と語り、ゲストとして「第1回新入生歓迎セミナー」が開かれた。

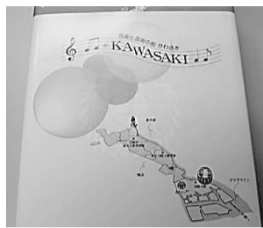
人、商店街が抱える課題解決に取り組むインターンシップは3年目を迎えた。大学での学びを実践的、総合的に生かし、「納豆の新商品開発」「商店街活性化プラン提案」など学生ならではの斬新な発想で、課題解決に貢献してきた。

学生がモチベーションを高め、地域と大学の交流を深める「学びの場」となるこのプログラム。14の企画が用意された今年ほどどのような結果が出るのか。学生が何を学べるのか。随時、本紙でもお伝えしていく。

昨年度の成果

商・石川ゼミ、生田目ゼミデザインの「掛け紙」完成

商学部の石川和男ゼミと生田目崇ゼミの学生がチャレンジした和菓子屋「仙臺屋総本店」(川崎市)の贈答用掛け紙「写真」が完成し、店頭で使用されている。



両ゼミのアイデアを融合した「川崎」をイメージでき、幅広い世代に親しまれるデザインが「川崎」を全国に広める「顔」となることだろう。

商店街ホームページの立ち上げに貢献

川崎市多摩区の稲田堤商店街からは、活性化のための新規ホームページ作成の依頼があり、田代祐輔さん(平20ネット情報)がイメージ作り、デザイン、プログラミング、写真加工までほぼ一人で制作した。

「ホームページをきっかけに商店街のつながりが再構築でき、意識が変わった」と感謝の声がある同商店街からは今年も継続して依頼がある。バージョンアップしてみたい、という方はぜひチャレンジを。

を流すなど、実り多いセミナーとなった。卓球大会で優勝した牧野博幸さん(経済)は「難しいこともありましたが、先輩のアドバイスに助けられた。参加して良かったです」、同2位の渡辺三鶴さん(文)は「ワークショップやキャリアデザインが面白く、と

して参加した日高義博学長・理事長は「自分に与えられたミッションを遂行してほしい」とエールを送った。続いて、学生相談室の金子玲子カウンセラーによるグループワークで交流した。2日目はキャリア形成のためのスキルを学び、卓球で汗を流すなど、実り多いセミナーとなった。卓球大会で優勝した牧野博幸さん(経済)は「難しいこともありましたが、先輩のアドバイスに助けられた。参加して良かったです」、同2位の渡辺三鶴さん(文)は「ワークショップやキャリアデザインが面白く、と



グループワークで積極的に交流

両キャンパスとも盛況

ペットボトルのキャップを回収するエコキャップ運動が盛況だ。本紙446・07年11月号既報。生田・神田両キャンパスの学生が実施、昨年度で7万2000個(生田・3万4200、神田・3万6000)が集まった。生田キャンパスでは10号館の入り口3カ所と購買会1カ所の計4カ所に回収ボックスが置かれている。「ボックスが満杯になると学内清掃のおじさん、おばさん方が連絡してくれるのでありがたい」と運動を展開している国際協力サークルの「S・顔」で話す。



和泉さん(右)と二部学生会の藤田委員長

ペットボトル・キャップ回収運動

生田10号館で北村さん



回収されたエコキャップはボランティアグループを通じて売却しリサイクルされる。売上金はポリオワクチンとして途上国に贈られる。800個で20円が一人分のワクチン代になる。

第41回「青衿祭」

6月7日(土)午後4時30分から連合県人会の新入生歓迎イベント「第41回青衿祭」が6月7日(土)、午後4時30分から東京・渋谷のC.C. Lemon ホールで開催される。連合有志によるアトラクションと、鈴木亜美さんのライブの2部構成。チケットは生田会館前、青衿祭ホームページ、専用電話(0800-1232-3454)で。新入生は無料(要学生証)、2年次以上の学生は6500円。

08年度学生団体役員紹介

【神田学生自治会】 委員長 植野 嘉文さん 会計主任 中村 龍一(法4) 委員長 吉川 尚利(文4) 【二部学生会】 委員長 若月 麗さん 副委員長 藤田たけき(経済4) 副委員長 木戸 啓介(経済3) 副委員長 長谷川裕之(経済4) (敬称略)	【生田学生自治会】 委員長 植野 嘉文(法4) 会計主任 中村 龍一(法4) 委員長 吉川 尚利(文4) 【体育会本部】 委員長 若月 麗(文4) 副委員長 藤田たけき(経済4) 副委員長 木戸 啓介(経済3) 副委員長 長谷川裕之(経済4) (敬称略)	【連合県人会】 委員長 天間 優作(経営4) 副委員長 石田 曜(経済4)
---	---	---

New Ground 23 新しい見方

池田 宏基 (文3・ジャーナリズム研究会)

『梅雨』と『徹雨』と 布団とカビと

大型連休も終わり、梅雨シーズンが目前となった。梅雨ということばは「つゆ」とも「ばいう」とも読めるのだが、どちらも意味は同じで「6月から7月にかけて日本や朝鮮半島に訪れる雨季」のことである。では、「梅雨」ということばに「梅」の文字が使われている理由はなぜかと考えたことはあるだろうか。

これは、梅雨の時期がちょうど梅の実が熟する時期と重なっているからだと言われている。また、「ばいう」は「徹雨」という表記をすることもあるそうだ。こちらは読んで字のごとく、ものにカビがつきやすくなる時期だからという由来があるのだという。

梅の実が熟する時期ということばはあまり縁のない話かもしれないが、カビが発生しやすい時期というのはまったくもって他人事では済まない。たかがカビと侮るなかれ。その中には私たち



1カ月後にはアジサイのシーズンに(生田キャンパス)

人間の体に悪影響を及ぼすようなものも存在している。そうでなくとも、おびただしい量のカビがそこかしこに発生していれば、誰であろうと良い気分には決してならないだろう。健康上の観点から見ても、不衛生極まりない。春からの一人暮らしに慣れ始めた1年次生も多いだろうが、何事も慣れてきたあたりで致命的な失敗をするものである。カビとの共同生活を送りたくなければ、日々の生活で横着することなく、毎日の換気を徹底するなど梅雨に向けた除湿対策を練ることをオススメする。

漫画研究同好会

